

「2023年度における外国人生徒・中国帰国生徒等の高校入試特別措置・特別入学枠等」調査票 2022年度実施

外国人生徒・中国帰国生徒等の高校入試を応援する有志の会

<基本情報①(自治体情報)>

都道府県市名 政令都市名	大分県		
高校入試 担当部署名	大分県教育庁高校教育課高校改革推進班		
TEL	097-506-5617	FAX	097-506-1796
URL	<a href="http://www.pref.oita.jp/site/gakkokvoiku/list21490-25125.html">http://www.pref.oita.jp/site/gakkokvoiku/list21490-25125.html</a>		

<基本情報②(担当した有志の会メンバー情報)>

調査担当者名	足立恵理 (所属: 多文化教育・福祉プロジェクト(大分人権教育ワークショップ研究会))
--------	---

<全国一覧掲載情報>

	I 全日制高校について						II 定時制高校について					
	A.外国人生徒		B.中国・サハリン帰国生徒		C.海外帰国生徒		D.外国人生徒		E.中国・サハリン帰国生徒		F.海外帰国生徒	
	A2-1.措置	A3-1.枠	B2-1.措置	B3-1.枠	C2-1.措置	C3-1.枠	D2-1.措置	D3-1.枠	E2-1.措置	E3-1.枠	F2-1.措置	F3-1.枠
1. 設置されているか(2-1、3-1と一致)	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	
2. 国籍要件の有無(一部条件がある場合は備考に記入)	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	
3. 定員の確保がされているか(3-5の記入欄番号①②から1つ選択、枠がない場合は無記入)		②定員外		②定員外		②定員外						

## I 全日制高校について

	A.外国人生徒	B.中国・サハリン帰国生徒	C.海外帰国生徒
1.2022年度中について、当該項目の生徒の在籍の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択	有	把握せず	有
2-1.2023年度の一般入試において、当該項目の生徒の受けられる入試特別措置の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質受けられる、等)の場合は「2-1の備考」に明記	○	○	○
2-1の名称	帰国・外国人生徒に係る入学者選抜の特別措置	帰国・外国人生徒に係る入学者選抜の特別措置	帰国・外国人生徒に係る入学者選抜の特別措置
2-1の備考 2-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記			
2-2.滞日年数制限	なし	なし	なし
2-3.措置の内容	協議による (例) ルビふり・検査時間延長・別室受験	協議による (例) ルビふり・検査時間延長・別室受験	協議による (例) ルビふり・検査時間延長・別室受験
2-4.2022年度の入試において、当該の措置で、日本語指導が必要な生徒が受験(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択	有	把握せず	把握せず
3-1.2023年度の入試において、当該項目の生徒を対象とした特別入学者の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質対象となる、等)の場合は「3-1の備考」に明記	○	○	○
3-1の名称	帰国・外国人生徒特別入学者選抜	帰国・外国人生徒特別入学者選抜	帰国・外国人生徒特別入学者選抜
3-1の備考 3-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記			
3-2.滞日年数制限	6年未満	6年未満	6年未満
3-3.入学者のある学校数/全学校数	1/39	1/39	1/39
3-4.学校名	別府翔青高等学校	別府翔青高等学校	別府翔青高等学校
3-5.定員 ※該当する方のみ記入	①定員内(枠内)		
	②定員外(枠外)	若干名	若干名
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつその数まで合格を認めているか (定員数内で不合格を出さない内規等があるか) ※○×から1つ選択	×	×	×
3-7.試験内容	英語による面接及び小論文	英語による面接及び小論文	英語による面接及び小論文
3-8.2022年度の入試において、当該の枠で、日本語指導が必要な生徒が受験(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択	有	把握せず	把握せず
その他補足事項 ※措置や枠がある地域については、2022年度の入試別の受験者数・合格者数、その他事項などを記入	公表していない	公表していない	公表していない

## II 定時制高校について

		D.外国人生徒	E.中国・サハリン帰国生徒	F.海外帰国生徒
1.2022年度中について、当該項目の生徒の在籍の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択		把握せず	把握せず	把握せず
2-1.2023年度の一般入試において、当該項目の生徒の受けられる入試特別措置の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質受けられる、等)の場合は「2-1の備考」に明記		○	○	○
2-1の名称		帰国・外国人生徒に係る入学者選抜の特別措置	帰国・外国人生徒に係る入学者選抜の特別措置	帰国・外国人生徒に係る入学者選抜の特別措置
2-1の備考 2-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記				
2-2.滞日年数制限		なし	なし	なし
2-3.措置の内容		協議による (例) ルビふり・検査時間延長・別室受験	協議による (例) ルビふり・検査時間延長・別室受験	協議による (例) ルビふり・検査時間延長・別室受験
2-4.2022年度の入試において、当該の措置で、日本語指導が必要な生徒が受験(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択		無	無	無
3-1.2023年度の入試において、当該項目の生徒を対象とした特別入学枠の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質対象となる、等)の場合は「3-1の備考」に明記		×	×	×
3-1の名称				
3-1の備考 3-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記				
3-2.滞日年数制限				
3-3.入学枠のある学校数/全学校数				
3-4.学校名				
3-5.定員 ※該当する方のみ記入	①定員内(枠内)			
	②定員外(枠外)			
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつその数まで合格を認めているか (定員数内で不合格を出さない内規等があるか) ※○×から1つ選択				
3-7.試験内容				
3-8.2022年度の入試において、当該の枠で、日本語指導が必要な生徒が受験(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択				
その他補足事項 ※措置や枠がある地域については、2022年度の入試別の受験者数・合格者数、その他事項などを記入				

## Ⅲ 高校入学後の状況

1.日本語指導が必要な生徒に対して、入学後の日本語や教科の支援(補習等)にかかわる当該自治体の施策の有無 ※有・無から1つ選択	有		
2.有の場合、その施策の具体的な内容 ※該当する項目にチェック	<input type="checkbox"/>	A.教育課程に位置づけられた日本語授業(学校設定科目や個別対応授業など単位として認定されるもの)の実施	
	<input type="checkbox"/>	B.教科学習において個別対応や習熟度別の授業を実施	
	<input type="checkbox"/>	C.母語(継承語)保持のための授業の実施	
	<input type="checkbox"/>	D.担当教員の加配	
	<input type="checkbox"/>	E.日本語の授業などの講師や支援者の雇用	
	<input type="checkbox"/>	F.母語(継承語)の支援のための講師や支援者の雇用	
	<input checked="" type="checkbox"/>	G.その他外部支援者(コーディネーターなど)の雇用	
	<input checked="" type="checkbox"/>	H.日本語指導が必要な生徒を対象としたキャリア教育(出口支援)	
	その他の施策		
	上記に該当する実施校の校数等		
補足事項	日本語支援員配置校2校(県立高校)		
3.自治体の施策ではないが、各学校で個別に実施していることがあれば記入			
4.2022年度の入試において、海外で中学相当(学校教育における9年の課程)を修了し、来日後直接高校受検(受験)した者の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択、有りの場合はその人数も記入	把握せず		
5.2021年度中に、直接来日後による編入学者の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択、有りの場合は、その人数も記入	把握せず		

IV日本国内にある外国学校からの入学について		
	↓記入欄	備考
1-1.各種学校の認可を得た外国学校の中等部の卒業生について、高校受験(受験)者資格を認めているか否か ただし、中卒認定試験の合格を以て認めている場合は除く。 ※認めているは○印、認めていないは×印のいずれかで記入し、認めていない場合はその理由を備考に記入。検討中あるいは未決定の場合は△を記入し、備考に明記	○	
1-2. 1-1で認めている場合 ※①～④からいずれかを選択 ①外国学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学選抜の受験(受験)を認めている(外国学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)	④	① 外国において、学校教育における9年の課程を令和3年3月に修了する見込みの者及び当該課程を修了した者 ② 文部科学大臣が、中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年3月に修了する見込みの者及び当該課程を修了した者 ③ 文部科学大臣の指定した者 ④ 就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定規則により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者 ⑤ その他、高等学校において、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
2-1.各種学校ではないが、本国政府の認可を得た外国学校の中等部の卒業生について、高校受験(受験)者資格を認めているか否か ただし、中卒認定試験の合格を以て認めている場合は除く。 ※認めているは○印、認めていないは×印のいずれかで記入し、認めていない場合はその理由を備考に記入。検討中あるいは未決定の場合は△を記入し、備考に明記	○	
2-2. 2-1で認めている場合 ※①～④からいずれかを選択 ①外国学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学選抜の受験(受験)を認めている(外国学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)	④	① 外国において、学校教育における9年の課程を令和3年3月に修了する見込みの者及び当該課程を修了した者 ② 文部科学大臣が、中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年3月に修了する見込みの者及び当該課程を修了した者 ③ 文部科学大臣の指定した者 ④ 就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定規則により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者 ⑤ その他、高等学校において、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
3.上記のI II 特別措置と入学枠での滞日年数制限について、日本国内にある外国学校の在籍期間は、日本での在籍期間に含むか否か ※日本での滞在期間に含むは「含む」、滞在期間に含めないは「含めない」のいずれかで記入	含めない	
4.外国学校の中等部の卒業生について、2022年度入試において受験(受験)希望があったか ※あった場合「有」を記入、備考にその人数を記入。なかった場合は「無」を記入。把握していない場合は「把握せず」	無	

## V 調査した人からのコメントや関係者の皆さんへお知らせ

※各地域を担当されている皆さんだから知っている地域情報を、皆さんの視点からご記入いただきたいです。

「他地域から皆さんが担当する地域に引越し予定をしている中2の外国人生徒とその保護者に伝えたい情報」という想定で、いずれも公開されている情報について、ご無理のない範囲で、ご記入ください。

<p>1.日本語指導が必要な生徒の状況について、支援者の立場から、高校受験(受験)や高校進学に困難なケースや高校入試及び入学後の支援に関して課題と感じていること 高校入試や高校入学後の支援に関して、教育委員会や高校に期待すること</p>	<p>大分県では、令和3年度入試から、別府翔青高等学校で特別入試枠が設けられました。2021年12月現在では、実施校が一校・一科のみ、受験言語は英語のみです。今後、外国人生徒の散在地域である大分県では、どの地域に住む日本語指導が必要で高校進学が困難な生徒が活用できるよう、実施校・実施科のバリエーションを増やしていくことが期待されています。受験の言語については、日本語指導が必要な生徒の出身国や言語もさまざまなので、これから生徒の母語別在籍状況をふまえた見直しも必要です。また、滞日年数が少ないなどの理由で日本語支援の時間数が足りなかった生徒が、高校入学後も必要な支援を受けられるよう、関係者が目標を共有し、どんな制度が必要か議論を重ねていくことが大事です。</p>
<p>2.日本語指導が必要な生徒を受け入れている私立高校の情報や課題など</p>	<p>柳ヶ浦高等学校インターナショナルコース:海外からの留学生や帰国子女向けのためのコースとして開設。日本語指導が必要な生徒の受け入れについて、中学校を通じて相談があれば、インターナショナルコースまたはその他の科で個別に相談に応じています。</p>
<p>3.外国人生徒の高校入試などについて、近くで相談できるところ ※担当地域内の団体名やURLなどを記入ください</p>	<p>・各市の子ども日本語教室では、学習や進学の相談も行われています。 <a href="https://www.oitaplaza.jp/japanese/wp-content/uploads/2021/10/3d75e3041b270efd4178d294b2325db8.pdf">https://www.oitaplaza.jp/japanese/wp-content/uploads/2021/10/3d75e3041b270efd4178d294b2325db8.pdf</a> ・進路ガイダンス(例年は9月または11月に開催)で相談できます。学校への相談員の派遣も可能です。 進路ガイダンスin大分実行委員会(足立090-5085-9860) <a href="https://esdwsoita.exblog.jp/">https://esdwsoita.exblog.jp/</a></p>
<p>4.多言語による関連情報 ※担当地域の自治体やNPOなどで公開されているものがあれば、URLなどを記入ください。</p>	<p>進路ガイダンスにて、日・英・中・韓・タガログ語の進路案内や高校進学費用の資料を配布しています。詳しくは進路ガイダンス実行委員会にお問い合わせください。</p>
<p>5.その他 ※「こんな情報もあるよ!」ということ、メッセージや助言などがあれば、調査した人からの目線でぜひご記入ください。なお、そのままホームページには掲載致しません。</p>	<p>・日本語のこと、勉強のこと、高校のことなど、わからないことや気になることがあれば、学校や日本語教室でどんどん質問してください。 ・日本語での相談が難しいときは、大分県外国人総合相談センターで通訳サービスを受けられます。 <a href="http://www.oitaplaza.jp/japanese/">http://www.oitaplaza.jp/japanese/</a> ・進路ガイダンスでも通訳つきで相談できます。</p>